

令和4年度 第1回 犬山市地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和4年6月17日（金）午後2時～

場所：犬山市役所2階205会議室

出席者：19名中18名

1 開会

- 【事務局】 開会の挨拶を行う。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための諸連絡を行う。今年度より委員数が1名増加した旨報告する。犬山市地域公共交通会議の委員数19名に対し、本日は18名が出席。過半数をこえているため、本日の会議が成立していることを宣言する。
- 傍聴者（1名参加）について、説明を行う。
- また、代理出席、配布資料について説明を行う。資料11の質疑応答のため、犬山市健康福祉部高齢者支援課（1名）の出席を報告する。

2 会長、副会長、監事選任

- 【事務局】 犬山市地域公共交通会議規則に基づき、会長の選任について、委員からの互選を促す。
- 【飯坂委員】 磯部委員を会長に推薦したい。

全会一致で磯部委員が会長に就任する。

- 【磯部会長】 会長就任に当たっての挨拶を行う。
- 【事務局】 飯坂委員と工藤委員に引き続き監事の役をお願いする。
- 【磯部会長】 犬山市地域公共交通会議規則により、犬山市市民部部長の中村委員を副会長に指名する。

3 議事

- 【磯部会長】 議事要旨の署名に、宮部委員、工藤委員を指名する。

（1）協議事項

■ 生活交通確保維持改善計画（案）について

- 【事務局】 資料1-1、1-2「生活交通確保維持改善計画（案）」の説明を行う。

別表については、中部運輸局愛知運輸支局様の指導・確認を受け、運行事業者あおい交通株式会社と作成する。

【磯部会長】 各委員から意見等は。

【委員】 なし。

【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

■ 星和橋撤去工事完了に伴う路線等の変更及び迂回ルートの廃止について

【事務局】 資料2「星和橋撤去工事完了に伴う路線等の変更及び迂回ルートの廃止について」の説明を行う。

【磯部会長】 各委員から意見等は。

【磯部会長】 1年ぐらい無理して運行してきた。今回は元に戻すだけということだが、工事期間中のルートの方が良いなどの意見はなかったか。

【事務局】 この1年で大きなトラブルはなかった。移設先のバス停も施設から少し歩く必要があり、屋根もない場所なので、元の位置の方が利便性は高いと認識している。

【磯部会長】 他に意見等は。

【委員】 なし。

【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

■ 地元要望に伴う路線等の変更について

【事務局】 資料3「地元要望に伴う路線等の変更について」の説明を行う。

【磯部会長】 各委員から意見等は。

【本田委員】 「危険なバス停」の関係。今回のバス停が「危険なバス停」に該当していた。「危険なバス停」制度は、令和2年度から実施。令和4年3月末時点では、愛知県内バス停の24%で徐々に改善が進んでいる状態。未だ、市町によっては土地の所有者と調整がうまくいかない、道路の構造上移設ができないなど、なかなか進まない中、犬山市さんには積極的に改善を進めていただいている。非常にありがたい。感謝の意を表します。ありがとうございます。

1点だけ、停留所の移設にありがちな話で、今までの停留所付近の方から、移設によって「不便になった」との意見が出る。この2つのバス停についてはいかがか。

【事務局】 意見はない。「鵜飼町」と「井堀町北」バス停について、利用される地

元の方は、今回の移設先「尾張広域緑道」より東に住む人が多く、バス停までの距離はむしろ短くなるので不便はないはず。

【飯坂委員】 観光者が川沿いを走らないことへの不満もあるのでは。観光課との調整は図っているか。

【事務局】 堤防沿いの道ではあるが、川も見えず景観が良いわけではないことから、今回の件については観光課との調整は行っていない。城前広場の渋滞の件など、内田線については、観光課と随時連携を図っている。

【磯部会長】 他に意見等は。

【委員】 なし。

【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

■ 地域公共交通計画の策定について

【事務局】 資料 4-1～4-3「地域公共交通計画の策定について」の説明を行う。

【磯部会長】 あらゆる乗り物の関係性をしっかり確認しようということが課題。犬山市には、名鉄電車が十文字に入っている。路線バスとして岐阜バスがある。タクシーも地元のタクシー会社がある。それに対して、「わん丸君バス」を市役所がやっている。それ以外に、お金を取らないけど人を運んでいるのもある。いわゆる送迎交通。そういう交通も考慮しなさいという話。それらを総動員して、お互い上手くいくように影響し合っていけばよい。そこをしっかりと考えましょう。そのため、行政だけで考えるのではなく、このような会議体で考えていくのが良い。きめ細かい話ができるようになる。高齢者対策や地域交通などを含めた計画を作り上げていく。

【磯部会長】 各委員から意見等は。

【飯坂委員】 パブリックコメントについて、今まで平均でどれくらいの意見がでていたのか。何件あればパブリックコメントの信頼性があるのか。どのようにお考えか。

【磯部会長】 市全体で考えて、感触でよいがどのくらいか。

【事務局】 パブリックコメントは多くて5件程度。大きな案件でも2桁くらいでは。市民にとってどれだけ興味のあることなのかによる。ホームページに掲載するだけでは集まらないので、周知も行いたい。

【飯坂委員】 5件では少なくないか。パブリックコメントを軽く使っては、議論がずれるのではないか。

【事務局】 パブリックコメントをやりました、というアリバイ作りのようなことにはならないようにしたい。最終的に公共交通を利用するのは市民の方。市民を無視して計画を作ることはできない。パブリックコメントを行う際は、飯坂委員を通じて老人会などにもご協力いただきたい。

よろしく申し上げます。

【中村副会長】 市役所1階の食堂横にテーブルがあって、今は市民活動の新条例のパブリックコメントやっている。前は常設の場所もなく、お知らせだけだった。今は、パブリックコメントの対象となる施設、対象の方にも、なるべく広く周知を行い、直接意見を求めるような働きかけを全庁的に進めている。事業の対象となる範囲が限定されたり、興味の大小があったりして、パブリックコメントの件数は内容次第で上下するが、市としては、なるべく広く周知して、意見は多くの方からいただけるようにしている。

【磯部会長】 「資料は市役所にありますよ」、「ここまで来て見てくださいね」と、分厚い資料を見せても理解力が足りない。いろいろな地域で説明会が必要かもしれない。最近では、オンラインでの資料配布や、説明用の動画を作って、ホームページにアップしている市町もある。動画のような、わかりやすく説明できるモノができたらいいい。私も協力します。なるべくいろいろな意見をもらえる体制、説明して分かってもらうという体制が必要。どの時点でそれをやるのかも。十分ご検討下さい。

【本田委員】 パブリックコメントをする上で、市民からいろいろな意見が出てくるが、今現在において、公共交通関係で何か意見は出ているか。また、市として公共交通の課題で認識していることがあれば、今後の参考として教えてほしい。

【事務局】 公共交通全体としては、あまり意見は聞かないが、わん丸君バスや名鉄電車など、個別の意見はある。課題として認識しているのは、例えば、各公共交通間の連携が十分に図れていないこと。電車やバスと連携のとれた計画ができればと考えている。

【磯部会長】 時代が変われば問題点も変わる。近い将来を見据えてやっていく必要がある。今年2022年。1947年生まれの団塊世代が75歳に突入して、後期高齢者が増えてくる時期になった。少し前と、ここ2、3年では、状況が変わってくる。後期高齢者の方も、今までと違い80歳でも元気に動いている。そうすると、どんな乗り物がふさわしいのか。いろいろ見据えて検討していく必要がある。

「犬山を選んで住んだけど、交通が悪いから便利な町に移る」という声が一番ツライ。住んで良かったという町でありたい。そのためには、交通サービスは充実しておかないといけない。市全体の地域課題と連動して考えていきたい。

【磯部会長】 地域公共交通計画を作っていく。先程のスケジュールとする。まず、業務委託の業者を選定する。ここからスタートして、業者が決まれば一緒に計画案を作るという流れ。このことについて、ご承認いただけ

るか。

【各委員】 異議なし。

【磯部会長】 異議なしということで協議が調った。

■ 公共交通実証実験（デマンド交通）について

【事務局】 資料 5-1、5-2「公共交通実証実験（デマンド交通）について」の説明を行う。

【磯部会長】 地域限定、行き先限定の実証実験となるが、各委員から意見等は。

【平松委員】 前回の仕様から、車両の所を変えていただきご配慮ありがとうございます。前回の表現では、大きな車指定であったが、今回は普通のタクシーも使用可能になるかと思う。地域のタクシー会社も参加しやすくなるのでは。40 日間の短い期間で、システムの件は大変悩ましい問題。運行業者の選定方式が指名競争入札となっているが、気になる点があるなら、プロポーザル方式など、こういったことができますよと提案できる方式にしてはどうか。

【磯部会長】 入札方式で提案があったが、事務局の考えは。

【事務局】 当初はシステムありきで考えていた。システム構築期間には 4～5 か月かかる。プロポーザル方式だと契約までに 2 か月ほどかかるので、今からだと 8 月契約。そこからシステム構築に着手すると、実証実験が年度内に行えない可能性がでてくる。

【松浦委員】 指名競争入札だと、1 円でも安い方になる。予算は 5 0 0 万。金額が見えている中では、金額を競わせるよりプロポーザルで総合判定をしてほしいするやり方がベターではないか。プロポーザルでは時間がないということなら、日にちを逆算してどれくらいでやれるか考えたほうが良い。

【磯部会長】 おしりが決まっているなら、それに間に合うような提案をいただいて、実現可能な提案を採用する。そういうスタイルでよいのでは。プロポーザル方式も有効ではないか。

【松浦委員】 事業者の立場で言わせてもらうと、尾張北部交通圏というのは 4 社ある。名鉄西部交通さん・尾張交通さん、愛北自動車さんとあおい交通。4 社全部に声をかけても、「うちはやめておきます」という所もあると思う。1、2 社は辞退するのでは。もしかしたら 1 社も手が挙がらないかもしれない。事業者としては、そういう状況。8 月契約になっても、やるつもりのあるところはあると思う。

【磯部会長】 システムの有無を事務局が決めてもいいのか、外部に投げて実現可能な方策を考えてもらう方がいいのか、という発言。事務局の考えは。

【事務局】 一度持ち帰りとし、臨時公共交通会議として改めて書面でお諮りいた

だくということでしょうか。

【磯部会長】 整理して、日付が大事なら間に合わせる体制で。実証実験は事業者さんにも辛いところがある。準備をするが、実験が終われば無用のモノになってしまう可能性もある。手が挙げにくいかも。

性能評価。やり方はおまかせで、最終的にこの実験でどんなことをして、どんな成果を出したいか。その方法はいろいろあってよい。

来年1月にやりたい。指定地域で行先は3箇所。このことについては、異存ないか。

【飯坂委員】 車両・同時に10人以上が乗車できる体制とは？また、対象エリアは犬山東側の過疎地域だけなのか。町中の高齢者にも買い物難民は存在していて、困っている。小回りをきかせるのが目的なら、町中も対象エリアにすべき。対象エリアの見直しを求める。

乗降場所はあくまでもアンケート結果を参考にしているが、行先名を「犬山駅」「犬山中央病院」とせず、近くの「ヨシヅヤ」や「カネスエ」などとして、わかりやすくすべき。アンケート結果にかかわらず、よく使われている施設を行先を選ぶべき。

【事務局】 前回までは、「ハイエースタイプ2台」と提示していたが、タクシー会社によっては大型車両を持っていないところもあり、表現を変えた。

「2台以上を使って、同時に10人以上の予約が入っても乗れるように」ということ。10人というのは、今回選定した3地区の、わん丸君バス利用状況がだいたい10人未満なので。

町中の交通弱者については、用意できる車両の台数にも限りがあるため、今回は見送りとする。また、資料5-1の3(5)①～④に該当するのが今回の3地域だったという経緯がある。

乗降場所については、駅・買い物・病院の3大目的を基に設定。犬山駅は買い物もできる。この3箇所を選定したことで、目的の最低限は網羅している。「ヨシヅヤ」などわかりやすい表現については調整していく。

【事務局】 エリアについて補足説明。飯坂委員のご発言のとおり、例えば城下町地区にも買い物難民はいる。本当は全域にデマンド交通を入れることが皆さんにとって良いことだと思うが、今はコミュニティバスが充実して構築されている。例えば、デマンド交通を入れることによって、どこかの路線が削れて、その分、町中のバスを充実させるなどの方策も取れる。デマンドバスだけ、コミュニティバスだけ、ということではなく、両方兼ね備えたハイブリッドのようなやり方もある。様々な選択肢の中で、今回は、「少し時間のかかる路線を切ることで、中のダイヤが充実することができるのでは」、ということも含めた実験をしたいので、こういう所を選んでいる。

- 【磯部会長】 文面にはないが、路線図を見れば、わん丸君バスのどういう路線のエリアを対象にしているのか見えてくる。
デマンド交通の使い方もいろいろある。毎日3地区に張付くのも方法だし、曜日によって地区を変えるのも方法。結構広いので回りきれない可能性もある。そういうことを考えると、プロポーザル方式の発言も、「なるほど」と思う。
- 【本田委員】 1件だけ確認です。実験中は路線運行とデマンド運行が並存する形とあるが、将来的にも並存するのか。デマンド地区は路線を運行しないなど、将来を見据えての考えはあるのか。
- 【事務局】 今回の実証実験は、わん丸君バスは止めずに並行していく。将来的にデマンド交通を導入した際には、予算を考えると、デマンド地区のわん丸君バスは廃止することも選択肢としてある。今後検討していくことで、決定ではない。
- 【磯部会長】 詳細は今後となるが、今回の提案をベースとして、実現に向けて進めていくということでよいか。
- 【各委員】 意見等なし。
- 【磯部会長】 それでは進めて行きます。

■わん丸君バス再編方針について

- 【事務局】 資料6-1～6-3「わん丸君バス再編方針について」の説明を行う。
- 【磯部会長】 再編方針の個別的なことは事務局まで。計画と再編を上手く組み合わせようとすると、事務局の提案のとおり短期間の期間を混ぜることとなるので、ご承認いただきたい。

(2) 報告事項

- 【事務局】 資料7 わん丸君バス 利用実績報告
資料8 わん丸君バス 無料乗車の継続実施について
資料9 わん丸君バス 車体広告の募集について
資料10 コミュバス通信の発行について
資料11 移動支援事業について（進捗報告）
の説明を行う。
- 【磯部会長】 以上をもって本日の議事を終了する。
- 【事務局】 閉会の挨拶を行う。次回会議の案内をする。

以上

令和4年 7月 日

本書は、令和4年6月17日に開催された犬山市地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人 _____

署名人 _____